

平成23(2011)年

広報 **4** 月号   
No.456

# のた

○ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>

○Eメール [soumu@vill.noda.iwate.jp](mailto:soumu@vill.noda.iwate.jp)



## 卒園おめでとう

津波で全壊した野田村保育所の卒園式が、3月26日に門前小路公民館で行われ、山形竜太郎さん(32、米田)は、卒園する息子の海渡くん(6)から「お父さんありがとう」と花束を渡され、目に涙を浮かべました。

津波で多くのものが失われた中で、かけがえのない子どもたちが全員無事に卒園できたことは、家族らにとって、何よりの喜びでした。

# 未曾有の大津波が残した爪痕

## 本村の犠牲者

- ・死亡者 37人 (うち村民28人)
- ・行方不明者 0人

## 家屋の被害

- ・全壊 308棟
- ・大規模半壊 135棟
- ・半壊 33棟
- ・一部破損 26棟

## 特集 — 東日本大震災大津波

平成23年3月11日に起きた東日本大震災大津波に関する特集をお伝えします。

## 航空写真で見る各地区の被害 (他地区の被害状況については6～8頁)

### 城内地区の被害

村の中で最も家屋が集中していた城内地区が、一瞬のうちにがれきが積み重なり、焼け野原のような風景に変わり果てました。

これまで住民を守ってきた、高さ10・3メートルの防潮堤の姿はなく、これまで見えなかったはずの海が見えるようになりました。

防潮堤や水門など、津波を防ぐ設備が破壊された現在、城内地区の住民らは余震のたびに津波の恐怖を感じながら生活を送っています。

商店街の大半が倒壊や浸水の被害にあったほか、田畑も海水につかり、経済的損失は想像を絶するものがあります。

津波から一カ月以上がたち、ライフラインの復旧やがれきの除去が進み、修理した自宅に戻る人や、一部商店などが営業を再開し始め、復興のきざしが感じられるようになりました。

城内地区の航空写真：旭町や本町の住宅の大半が破壊され、焼け野原のような景色が広がる。



⑩15時46分

防潮林がなぎ倒され、市街地のかなり奥まで浸水が確認できる



⑦15時38分

第一波でひびの入った防潮堤に第二波が襲いかかる



⑪16時20分

南浜方面では火災が発生。なすすべもなく、見守るしかなかった



⑧同時刻

防潮林よりもはるかに高い水しぶきが上がる



⑫16時48分

津波が去った後、野田漁港にはがれきしか残りませんでした



⑨15時39分

第三波は港地区の12にある防潮堤(点線部)すら乗り越えた



④15時33分

大きな波となった第一波が野田漁港に入る



①15時29分

大きく潮が引く



⑤15時34分

建物や車が土ぼこりをあげて津波に飲み込まれる



②15時32分

下安家漁港を襲う津波



⑥同時刻

網や漁船が陸に流される



③15時33分

白いしぶきをあげながら津波が迫る

# 東日本大震災 大津波レポート

平成23年3月11日(金)に起きた大津波の様子をレポートします。

(撮影場所 港地区御台場公園)

3月11日、午後2時46分

いままで経験したことがない、激しい地震を感じ、私は津波の様子を撮影するため、すぐに野田漁港に向かいました。

せいぜい数分の津波だろう。

そう勝手に思い込んでいた私は、消防職員や消防団員らといっしょに野田漁港手前の道路で潮の引いた海面を眺めていました。

## 下安家を襲う大津波

海原の遠くに、海面の盛り上がりが見えました。

その盛り上がりは徐々に陸地に近づいて、津波となって普代村の堀内漁港に襲いかかりました。

津波はすぐに下安家漁港も襲い、そのしぶきは国道45号線まで上りました。

「下安家の人たちは無事だろうか」、そう思うと同時に、ここでは助からないと思い、近くの御台場公園へ駆け上がりました。

## 想像を絶する大津波

御台場公園まで上ると、海の端から端まで白く水しぶきを上げながら津波が迫っていました。

津波はそのまま野田漁港に入り、多くの船や市場、工場などの建物を押し流し、あっという間にすべを飲み込みました。

前浜方面の防潮堤をみると、第一波がひくと同時に、防潮堤に大きな亀裂が入っているのが見えました。

第二波は、第一波が引ききらないうちに防潮堤を襲い、防潮林よりもはるかに高い波しぶきをあげて、防潮堤を飲み込みました。

最も高い波だった第三波は12にある港地区の防潮堤を軽々と乗り越え、私たちのいる御台場公園にあと数分まで迫りました。

## 大津波が去った後

前浜では原形をとどめないほど破壊された防潮堤の残骸が見え、街ではたくさんさんの家屋が押し流されたのが見えました。

津波が去った後も、しばらく海面の高さは大きく上下し、御台場公園から避難できたのは18時近くになってからでした。

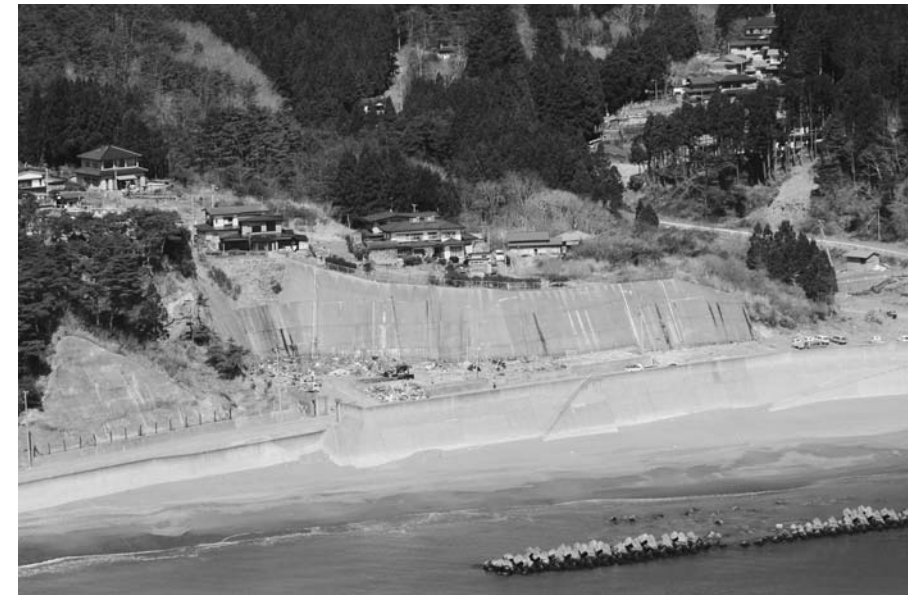


## 泉沢地区

城内地区と同様に防潮堤が決壊し、大津波の直撃を受けた泉沢地区。

三日市場周辺の住宅は壊滅的な被害を受け、中野商店周辺まで浸水被害がでました。

倒壊した家屋は泉沢川に堆積し、川の流れをせき止めました。



## 中沢地区

大津波は高さ12mの堤防を乗り越え、海岸に近い数世帯を飲み込みました。

また、広内橋が崩落し、久慈市の林道以外の交通路が遮断され、一時的に陸の孤島と化しました。

## 南浜地区

高さ12m（一部10.3m）の堤防を乗り越えた津波は、三陸鉄道の線路や国道45号を乗り越えてたくさんの家屋に被害が出ました。

津波直後には火災が発生しましたが、がれきや断水のため、十分な消火活動ができませんでした。



## 新山地区

高さ12mの防潮堤が幸いにも持ちこたえた新山地区では、海岸近くの数世帯や田畑への浸水などの被害は出たものの、新山村営住宅などには浸水せず、比較的家屋被害は少ないものとなりました。

その一方で、新山地区は公共下水道や新山農業集落排水など、下水処理施設が集中しており、村の多くの地域で下水道が利用できなくなりました。



## 米田地区

防潮堤を兼ねた国道45号線を津波が乗り越え、海岸近くの家屋が跡形もなく消え去り、がれきが三陸鉄道のトンネルをくぐり、南浜地区まで広がりました。

水門の屋根が破壊され、海岸近くの山肌がえぐられるなど、想像を超える高さの津波だったことがわかります。



## 野田漁港

村で一番大きく、市場やホタテの蓄養施設、製塩工場などの施設が集中している野田漁港。

全ての施設が津波により破壊され、建物の基礎しか残らないほど、壊滅的な被害が出ました。

大部分の漁船や漁具なども流出し、漁業者らにとって大打撃となりました。





流出した家屋を調べる自衛隊員ら



震災から一週間後の黙祷には全国の捜索隊が参加しました



川に堆積したがれきの上で行方不明者を捜索する消防隊員

震災の直後から、全国の消防や警察、自衛隊や近隣の消防団などの捜索隊が集まり、連日数百人態勢で行方不明者の捜索やがれきの撤去などにあたりました。がれきや泥などの足場が悪く、人力でがれきを取り

除くという過酷な環境で、捜索隊の隊員らは疲れ切った体を「行方不明者をいち早く家族に会わせたい」という思いを奮い立たせ、捜索にあたりました。また、消防団員の中には自身が被災者となっている

にもかかわらず、献身的に捜索に参加する姿が見られました。捜索隊の懸命な努力のおかげで3月28日には行方不明者の捜索が終了し、同日に解散式を行うことができました。



## 玉川地区

漁港施設や漁船、番屋などに壊滅的な被害が出たほかに、海に近い家屋の被害がありました。津波は西行屋敷跡や野田玉川駅といった、比較的高い位置にも到達しました。

## 下安家地区

下安家地区では川沿いの住宅の大半が大規模半壊などの被害にあったほか、下安家橋が崩落しました。漁業の被害も大きく、下安家漁港や下安家漁協などの施設に壊滅的な被害が出ました。



## 三陸鉄道北リアス線

住民の足として親しまれていた三陸鉄道の線路は、城内地区や米田地区などで津波の直撃を受け、数百々にわたりレールがマクラギごとにはがされる被害が出ました。



## 役場周辺の公共施設

倒壊は免れたものの、一階部分が浸水や大規模半壊の被害が出ました。特に学習センターの被害が大きく、図書はほぼ全てが海水につかりました。



# 村内外から届く支援の手



ライジングサンプスタジアムでは無料の救護所がおかれました



県内外の市町村の職員も応援に駆けつけてくれました



片づけ作業で疲れた体にしみわたります



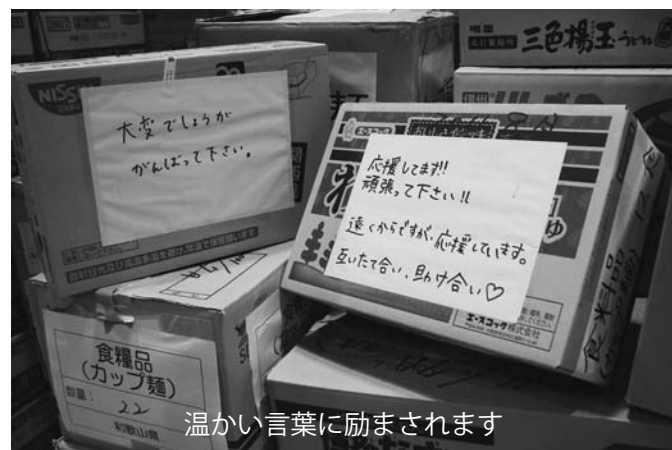
あつあつの牛丼の炊き出し



野田村体育館での仕分け作業



ラーメンの炊き出しに、長い行列ができました



温かい言葉に励まされます



支援物資には励ましのメッセージがたくさん寄せられています

村だけでは手の回りきらない、さまざまな復興作業や手作りで温かい食事などを、多数のボランティアのみなさまにご協力をいただいております。(4月14日時点)

これまでご協力いただいたボランティアは、災害ボランティア2732名、炊き出しボランティア19団体となっています。(4月15日時点)

岩手県からの物資のほかに425件の団体や個人から支援をいただいております。(4月15日時点)

## 災害ボランティア・炊き出しボランティア

### 支援物資

### 野田村災害義援金

これまで全国から寄せられた義援金は5659万円になりました。(4月26日時点)

みなさまのあたたかいご支援、誠にありがとうございます。いただいた義援金は、村の復興のため、有効利用させていただきます。

## 野田村 災害義援金

災害義援金は次の方法で受け付けています。

### 振込口座

○取扱銀行

岩手銀行野田支店

○口座番号

2018951

○口座名義

野田村災害義援金

※岩手銀行本店、各支店からの送金手数料は無料です。(ATM利用は有料)

### 役場窓口での直接受付

○受付時間

午前8時30分～

午後5時30分

○受付場所

役場出納室



がれきを片付ける久慈工業高校の生徒ボランティア



被災住宅の片づけを行うボランティア



消石灰による消毒作業



米軍の赤十字ボランティア

# 入学式



ちょっぴり緊張した表情の新入生

## 野田小学校

野田小学校（高橋啓司校長、児童200人）の新1年生30名の入学式は、4月8日に同校体育館で行われ、元気いっぱいの姿を見せました。

高橋校長は「学校ではあいさつをきちんとし、勉強の時などは人の話をよく聞いて、元気に遊んでください」とあいさつしました。

また在校生を代表して6年生の外館奈々さん（下明内）は「わからないことは私達や先生に何でも聞いて、学校生活を楽しんでください」と入学を歓迎しました。

## 野田中学校

野田中学校（三船俊光校長、生徒133人）の入学式は、4月6日に同校体育館で行われ、36名の入学が祝福されました。

式辞で三船校長は「すべてのいのちが尊いということ意識して、自分と同じように周りの人の幸せのために力を尽くして努力できる人になってください」と激励しました。

新入生を代表して中野友莉さん（上泉沢）は「一人一人が中学生の自覚を持って、自分で目標を作って努力していきたいです」と誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる中野友莉さん

## 久慈工業高校

久慈工業高校（遠藤敏夫校長、生徒212人）の入学式は、4月15日に久慈市アンバーホールの小ホールで行われました。

遠藤校長は「できること、やるべきことを意識し、希望を持って頑張ってください。そして、みなさんの元気な姿が、地域の人に勇気と希望を与えます」と話しました。

新入生を代表して電子機械科の澤里優一くん（中平）は謝辞のなかで「このような大震災の中で青春を送れることに感謝を持ちながら、知識技術人間性を磨いていきたいです」と決意を表明しました。



新入生の誓いの言葉を述べる生徒代表の澤里優一くん

# 野田村東日本大震災 犠牲者合同慰霊祭

東日本大震災犠牲者合同葬儀と合同慰霊祭は、4月17日に野田小学校体育館で行われました。同慰霊祭には村内の28名の犠牲者の21家族と村内外からの参列者約1000人が出席しました。

小田祐士村長は「津波を防ぐことはできませんが被害を最小限にすることが使命。早急に防潮堤を整備し、このことを風化させないように語り継いでいきます」と、式辞を述べました。また、岩岡吉比古・村議会議長は「亡くなられた方の悲しさ、無念さに報いるため、一日も早く安全で新しい野田村を作り、生活再建に全力を尽くすことが私たちの使命であると信じます」と復興を誓いました。



目に涙をうかべて、故人を送りました

## 鳩山前首相や閣僚ら来村

### 村や避難者の要望を政府に報告

4月11日に鳩山由紀夫前総理大臣らが来村し、震災から一カ月になる午後2時46分に本村で黙祷を捧げました。

前首相らは、役場で被害状況の説明や、復興支援の要望を受けた後、村内の避難所や防潮堤などを視察しました。

避難所では「命を守る政治を掲げてきたが、その命を守るという基本的な部分を守れなくて申し訳ない」と避難者らにお詫びをしながら、避難者一人一人の要望に耳を傾けました。



避難者一人一人の声を聞く鳩山前首相



防潮堤の整備について小田村長(右)の説明を聞く鳩山前首相(左)

## 戸籍の窓口

3月受け付け分  
(敬称略)

★お誕生おめでとう  
浅水 いち花 (貴光・収子) 東京都

♡いつまでもお幸せに  
(盛田 雄司 門前小路  
齊藤 美和 門前小路  
上川 将紀 玉川  
小向 綾 久慈市)

■ご冥福を祈ります

廣崎 トメ (86) 中沢	中館 トミサ (96) 玉川
藤森 昭子 (75) 米田	小野寺 昭二郎 (83) 旭町
山形 正男 (76) 米田	日形 井與平 (90) 下泉沢
北田 勝太郎 (79) 本町	近藤 昌子 (75) 本町
明内 伊智祐 (53) 米田	廣内 市藏 (78) 旭町
小野寺 トメ (82) 旭町	奥山 哲秀 (72) 前田小路
川戸 道益雄 (75) 港	大沢 スエ (90) 南浜
大下 フニ (73) 旭町	坂本 吉太郎 (74) 旭町
澤里 幸江 (43) 旭町	片座 準貴 (21) 前田小路
榎屋 義廣 (79) 旭町	榎屋 トキ (76) 旭町
北田 秀利 (49) 本町	明内 トシ (82) 米田
中野 中 (73) 南浜	小野寺 安子 (58) 旭町
菊地 一男 (36) 米田	佐藤 勝雄 (81) 米田
佐藤 隆幸 (53) 米田	宇部 正幸 (70) 中平
久慈 朗恵 (79) 本町	晴山 サメ (93) 下明内
南川 ニノ (86) 玉川	大沢 藤吉 (86) 南浜
福士 幸司 (75) 北区	

人の動き

男	2,314人	(-35)
女	2,443人	(-39)
計	4,757人	(-74)
世帯数	1,662世帯	(-12)

ほっとひといき  
▼大津波で亡くなられた方々の御冥福をお祈りいたします▼震災以降あまりにも多くの出来事があり、うまくまとめられないことに力の無さを実感▼とにかく今は生きていることに感謝し、頑張ります ☑

## のだスナップ集



知事との記念撮影にっこり！  
(3/19 達増拓也知事 訪問)



住民総出でがれきの片づけ！  
(3/23 中沢地区)



交通ルールを守ってね！  
(4/4 野田小 交通安全グッズ贈呈)



鳩山前首相にだっこされてちょっと緊張!  
(4/11 鳩山前首相 訪問)



きれいな音色にうっとり  
(4/23 自衛隊音楽隊演奏会)



みんなを元気づけるよさこいソーラン!  
(4/24 伊藤多喜雄さん 訪問)

## 新採用職員を紹介します



平成23年4月から採用になった4人の職員を紹介します。(①年齢②住所③主な業務④抱負)

**産業振興課 主事 中野雅幸**  
①30 ②久慈市 ③水田農業 ④野田村のために精一杯頑張ります！

**住民福祉課 主事 畑田純一**  
①29 ②久慈市 ③戸籍、住民票、消費者行政 ④こんな時だからこそ力を合わせて頑張りたいです！

**教育委員会 主事 松川直也**  
①22 ②下泉沢 ③体育施設、スポーツ少年団 ④自分にできることを精一杯頑張ります！

**住民福祉課 主事 森裕子**  
①22 ②旭町 ③保育所、児童福祉、生活保護 ④明るくさわやかに、住民に身近な職員になります！

## 携帯電話で「災害対策本部からのお知らせ」を確認できます

災害対策本部から、各避難所向けに、ほぼ毎日発行している「災害対策本部からのお知らせ」を携帯電話で気軽に確認できます。

- 掲載内容
- ・生活再建に関する情報
  - ・各種相談会やイベントの情報
  - ・応急仮設住宅の写真 など

- アドレス
- パソコンや携帯電話で直接入力する場合  
[http://d.hatena.ne.jp/nodamura\\_koushiki/](http://d.hatena.ne.jp/nodamura_koushiki/)
  - 携帯電話でQRコードを読み込む場合  
※村のホームページにリンクを張ってあります。



- 問い合わせ  
災害対策本部

## 事業用資産の「被災証明書」

- 必要なもの
- ・印鑑、被災した資産の一覧表(様式は役場にあります)、被災したことを確認できる書類(写真など、用意できる場合のみ)
- 問い合わせ、受付窓口  
産業振興課 9時～17時

## 印鑑を無料で作成します

- 受付期間 4月30日(土)～5月2日(月)
- 受付場所 役場村民ホール
- 対象者 震災により、印鑑を無くされた被災者
- 本数 500本限定とさせていただきます
- その他
  - ・書体は希望に添えないことがあります
  - ・作成に一カ月かかります(完成した際は、電話で連絡を差し上げます)
  - ・申し込みの際、罹災証明カードをご持参ください
- 提供元 三陸鉄道を勝手に応援する会、はんこ市場盛岡店ほか3社
- 問い合わせ 災害対策本部

## 三陸鉄道からのお知らせ

- 平成23年5月1日以降、罹災証明書による無料乗車を終了します。
- 料金(変更ありません)  
久慈駅～陸中野田駅 300円  
久慈駅～宇部駅 200円
  - 無料乗車  
罹災証明書による無料乗車は終了します。
  - 問い合わせ  
三陸鉄道北リアス運行部 ☎0194・52・3411

## 流出したアルバムや写真など

役場前で流出した写真やアルバムなどの保管をしています。心当たりのある方はご確認のうえ、お引き取り下さい。

- 場所 役場玄関となり(雨天は中止)
- 問い合わせ 災害ボランティアセンター

## 災害義援金(支援金)

- 受付期間  
平成24年4月19日まで
- 受付窓口、時間  
住民福祉課、9時～17時

## 被災者生活再建支援金(支援金)

- 受付期間  
基礎支援金 平成24年4月10日まで  
加算支援金 平成26年4月10日まで
- 受付窓口、時間  
住民福祉課、9時～17時

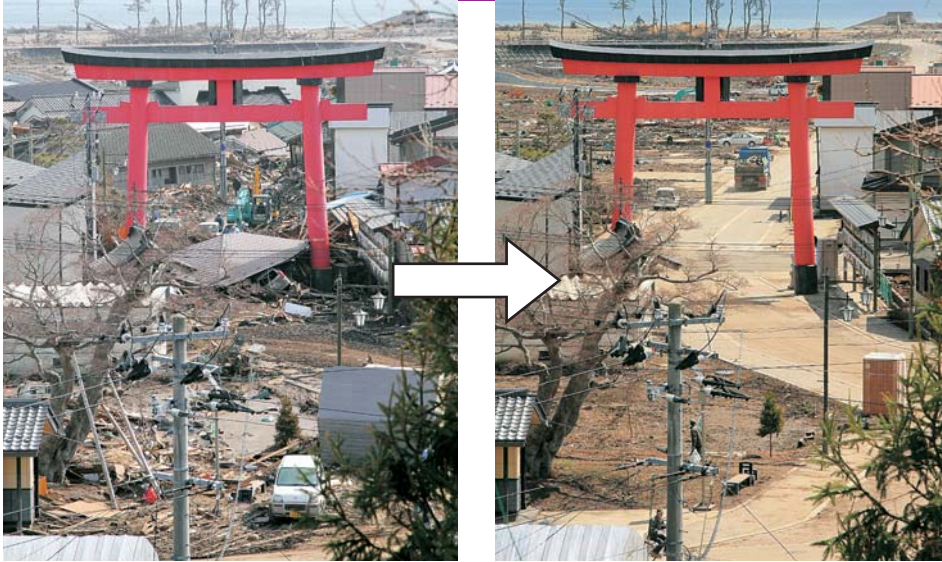
## 災害援護資金(貸付)

- 受付期間  
6月30日(木)まで
- 受付窓口、時間  
住民福祉課、9時～17時



# 悲しみを乗り越えて 前向きに進む決意

## 愛宕参道広場



3月14日

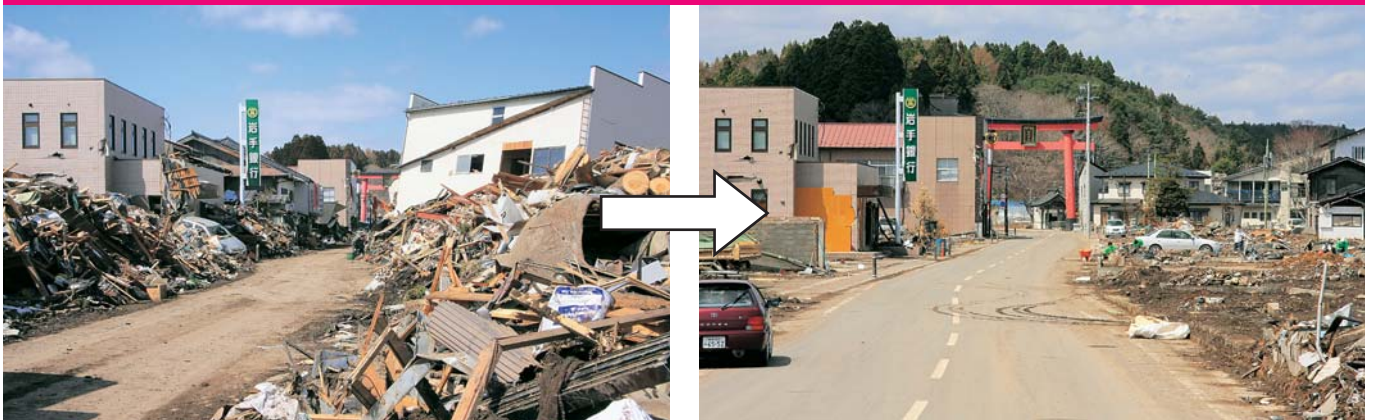
4月24日

行政だけでなく、住民やボランティアの力で、がれきだらけだった村が、一日一日の積み重ねで街並みが少しずつきれいになってきました。

また、家屋をなくした人の応急仮設住宅も急ピッチで建設されています。

元のような生活への道のりはまだ遠いですが、確実な一歩をみんなで踏み出しましょう。

## 本町通り



3月18日

4月24日

## 応急仮設住宅（野田中学校グラウンド）



4月13日

4月22日